

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報				
ふりがな	ときおか そうた			
氏名	時岡 壮太			
所属	株式会社デキタ			
役職	代表取締役			
活動エリア	北陸			
連絡先	住所	〒	919-1532 福井県三方上中郡若狭町熊川30-6-1	
	電話番号	0770-62-1777		
	メールアドレス	info@dekita-tokyo.com		
キャッチコピー	「文化資源を活かし地域経済の循環をつくる」			
自己PR	<p>東京都において(株)デキタを設立、各地の施設開発事業に従事したのち、2018年度に福井県若狭町に本社を移転しました。</p> <p>現在、若狭町の重伝建「若狭熊川宿」において、古民家宿泊施設「八百熊川」、複合アウトドア施設「山座熊川」、食品加工所「KIKUYA」などを開発し、宿泊業、食品加工業などの自社事業を展開しています。</p> <p>古民家に限らず地域の文化資源を多角的に活用し、人口減少が進む山村において多くの雇用を産んでいる(株)デキタの活動は、高く評価いただいております。若狭熊川宿を含む日本遺産「御食国と鯖街道」の、日本遺産プレミアム(日本初)への選定などに貢献をしてきました。</p>			
関連ホームページ	名称		アドレス	
	八百熊川		https://yao-kumagawa.com/	
	山座熊川		https://sanza-kumagawa.com/	
	株式会社デキタ		https://dekita-tokyo.com/	
2. 略歴・受賞歴				
略歴・受賞歴	<p>福井県おおい町出身</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2011年 株式会社デキタ設立 代表取締役就任 ◆2018年 株式会社デキタ本籍地を福井県若狭町に移 ◆2019年 古民家宿泊施設「八百熊川」開業 ◆2021年 地方創生オブサイヤー「地方創生賞」受賞 ◆2023年 若狭町文化財保存活用地域計画策定委員～(2024年度より運営委員) ◆2023年 複合アウトドア施設「山座熊川」開業 ◆2024年 日本遺産「御食国と鯖街道」がプレミアムに選定(地域事業者として参画) ◆2024年 東京都北区新庁舎にぎわい有識者会議 委員長～ 			
3. 取組分野				
● 観光	(歴史的資源を活用した宿泊施設の開発と運営、地域の文化財を活用した観光体験コンテンツの開発と運営)			
● 移住・定住・関係人口	()			
● 農林水産業	(伝統野菜等を活用した食品の開発と販売)			
● 起業支援	()			
● まちなか再生	()			
● 集落再生	(歴史的資源を活用した観光まちづくりに関わる計画策定)			
● 環境	()			
● その他	()			
4. ふるさと財団での実績				
外部専門家(活用助成)	◆2018～19年度 福井県若狭市「WAKASA!チャレンジプロジェクト」			

5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 八百熊川 (2)対象地 : 福井県若狭町 (3)事業目的: 重伝建「若狭熊川宿」の空き家を活用した事業を開発し地域経済の循環をつくる。 (4)事業内容: (株)デキタの自社事業として若狭熊川宿内の古民家を活用した分散型宿泊施設を開発した。第一期開発として2019年度～2021年度にかけて3棟4室の分散型古民家施設を開発。受付場所となるとセンター棟やかまどを使った食の体験事業スペースなども合わせて整備した。(株)デキタで宿泊事業許可を取得して、自社で受付、PR、清掃、食事提供を行なっている。</p> <p>(5)事業による成果: 2024年末において年間稼働率50%程度、インバウンド利用率14%の古民家宿泊施設としては高い稼働状況にあり、正社員4名、パートタイムスタッフ10名程度の雇用を生み出している。 2025年度より第二期開発を予定している。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : 山座熊川 (2)対象地 : 福井県若狭町 (3)事業目的: 熊川地区の山間部に宿泊施設、観光施設、トレイルルートを整備し、重伝建「若狭熊川宿」と合わせ若狭町を代表する観光ゾーンを整備する。 (4)事業内容: 若狭町、(株)デキタ、地域の民間事業者(3社)でSPCを設立ののち、公民連携事業として「山座熊川」という複合アウトドア施設を整備した。山座熊川はBBQスペース、受付、物販スペースからなるセンター棟、5ベッドのキャビン(6棟)、水回りを完備したオートキャンプサイト(12ヶ)からなり、70名程度が宿泊可能な施設となっている。基盤整備を若狭町が、上物の整備をSPCが行い、施設全体を(株)デキタが賃借の上、運営をひきとるスキームとなっている。</p> <p>(5)事業による成果: 2023年度に期間限定オープンをし、2024年度よりグランドオープンを迎えた。2024年度一年目より関西圏と中京圏、両方より集客が可能なアウトドア施設として認知され、県内外からのバランスのいい集客ができています。2025年度より関西圏の企業に向けた研修プログラムなども提供する予定となっており、観光向け、業務向け双方の集客を実施している。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p>